

株式会社エフエムなかそらち番組審議会 議事録

1. 開催年月日

令和 2 年 11 月 30 日 (月)

2.開催場所

滝川市まちづくりセンター『みんくる』

3. 審議委員 委員数 7 名

【出席 6 名】 委員長：田中 一徳

委員：松尾 和也、神部 志乃信、安楽 良幸、今 安紀子、嶋貫 かおり

【欠席 1 名】 委員：木川 宜大

【放送事業者側出席者】 山口 清悦、椎名 さき

4. 議題 番組審議『演歌うたごころ』

毎週火曜日 生放送 午前 11:00～11:30

毎週日曜日 再放送 午後 22:30～23:00

5. 議事の概要

番組審議委員の該当番組に対する意見聴取

6. 審議(議事)の内容

・時効の話題と曲のバランスが良かったです。選曲も、パーソナリティと同年代なのか、子供のころ聞いていた曲ばかりで違和感がなかった。火曜日の昼前に毎回生放送というのはすごいと思います。聞いていて心が和みます。

・一本目で、息子さんの修学旅行の話が長引いてしまい予定していた曲が一曲かからなくなってしまったのもご愛嬌。二本目、冒頭でモノラルとステレオに切り替わっていたのは音源の問題か放送時にそうなってしまったのか、それが気になりました。

・演歌うたごころというタイトルなので演歌を流すのは当然だが、流しているだけで曲に対しての説明やコメントがなく、話していること自体の内容はあまり演歌と関係がないなど感じた。情報として曲に対してのことも話した方がいいのかなと思いました。

・歌番組ということなので、全体の 3 分の 2 程度使って曲をかけているので全体的なバランスは良いと思います。自分の年代よりもう少し上の年代の曲で、父親がカセットテープで聞いていたころのことを思い出し懐かしいなと思いました。トークに関しては、身近な話題で親近感があり素朴な感じで交換が持てました。

・オープニング曲（島倉千代子/ 人生いろいろ）がよく、ワクワク感が伝わる曲でした。個人的には、もう少しフェーダーを下げるタイミングを曲の切りの良いところにするとう聞いててスッキリするなと思います。話し方はやさしく落ち着いた声で話のスピードもよく聞き心地がよかったです。音のボリュームや声もクリアで聞きやすかったです。一本目の番組では音楽も、女性の曲の後に男性の曲・アップテンポな曲の後にスローテンポな曲など組み合わせやバランスが良かったです。先ほど話題にもあった、息子さんの修学旅行の話で小林旭の曲がかからなかったのは少し残念でした。ひと番組に6曲入っており音楽好きな人にとってはうれしい番組かと思います。紹介した曲のエピソード、例えば、〇〇年のレコード大賞をとった曲・歌手が何歳の時に出した曲など情報があったらいいなと思いました。2本目では、前回で最後に小林旭の曲がかからず終わったので、今回で聞けるかと期待していたのですが出てこなくてちょっと残念でした。また、選曲も1本目よりは声質や曲の雰囲気似ている曲が続くこともある印象でした。

・自分は運転しながら聞いていて、曲を聴きながら一緒に歌っていたりしたので、1本目がかからなかった小林旭が2本目で聞けるかなと思っていたのですがかからなかったので少し残念に感じました。全体のバランスはもちろん、パーソナリティの方の声も落ち着いていて心地よかったですのでいいなと思いながら聞いていました。

・パーソナリティのまりさんの生まれが1964年ということで、その年代を現した曲がいろいろ流れていたんだなという印象です。自分も現役そのままというわけではありませんが懐かしさを感じる曲もあって、その年代の曲をいろいろと聞きたいという人には、曲数もそれなりにあったので番組的に成り立っているなと思いました。2本目で「星影のワルツ」の音質があまりよくなくノイズ交じりで音源の問題か機材の問題かわかりませんが気になりました。トークは身近な話題でローカルらしさや素朴さもありよかったです。ただ何度も話題にあるように曲に対してのコメントなどがあると初めて聞く人や年代が違う人が聞いても聞いていてわかりやすいかなと思います。

・パーソナリティさんの声もよくテンポも聞き心地がよかったです。自分は普段あまり演歌を聞く方ではないですが、改めて演歌の良さに気づかされました。それと同時に、演歌を普段聞かない人にとっては曲についての時代背景や情報・説明やパーソナリティさん目線の感想やコメントなども聞いてみたいなと思いました。

・お子さんの修学旅行の話は、保護者とスマートフォンでやり取りをするなど昨今の学校の体制なども聞いて興味深く思った。

・放送日の記念日についての豆知識などもあり、何気ない雑学が増えるのも良いと思いました。